

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：長岡京市

重点目標	住みつけたい みどりと歴史のまち 長岡京		
	事業群	構成事業名	
	安心安全のまちづくり事業	防災備蓄物資等整備事業	
		災害対策事業	
		防犯灯新設・維持管理事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>長岡京市地域防災計画における仮設トイレ設置基準に基づき、避難所である長法寺小、長岡第九小及び長岡第二中にマンホールトイレを設置し避難所の整備を図った。職員用の防災ヘルメットの購入や災害時に迅速な情報伝達を行うため、災害時広報車両スピーカーを4台に取付し、災害対策を実施した。防犯対策として、防犯灯に従来の蛍光灯を使用した維持管理と併せて、モデル地区を設定し、防犯灯を新設する際に従来の蛍光灯に代えて、LED灯を設置して、LED灯の明るさ、維持管理費用等を検証した。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		防災備蓄物資等整備事業				
事業の概要	長岡京市地域防災計画における仮設トイレ設置基準に基づき、避難所に指定している14校(小・中学校)にマンホールトイレを平成21年度から5カ年で整備する。平成22年度は、長法寺小、長岡第九小及び長岡第二中に設置工事を実施する。					
	事業期間	平成22年5月31日～平成22年8月31日				
	総事業費	2,574千円	本年度事業費	2,574千円	交付金交付額	1,077千円
事業評価	事業の必要性	災害が発生し、避難所が開設され避難所生活を余儀なくされた場合、避難者にとって不安の一つがトイレである。避難所にマンホールトイレを設置することで避難者の不安の解消を図る必要がある。				
	事業の有効性	防災備蓄物資であるマンホールトイレの整備を行うことで、地域の防災訓練の際に地域の住民に対して使用方法等、体験してもらおう中でいざというときの備えができる。				
	事業の効率性	災害が広域にわたった場合、市外の仮設トイレ取扱業者から、仮設トイレ設置基準を満たす箇所数を確保できないおそれがある。できるだけ必要数が不足することのないようにしなければならない。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果 防災訓練を通じて避難所のマンホールトイレを実際に設置してもらい自主防災組織を中心にいざというときのイメージをもってもらおう。				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		災害対策事業			
事業の概要		災害対策として、災害発生時に業務に当たる職員の安全を確保しながら災害対策活動を行うため、ヘルメットを購入する。また、開発等により住宅の戸数が増え、現在の広報車台数では迅速な情報伝達が行えないため、広報車用アンプ及びスピーカーを通常車両に設置する。			
	事業期間	平成22年5月20日～平成22年6月25日			
	総事業費	417千円	本年度事業費	417千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	平時から災害時を想定した災害対策活動を円滑に行うための装備、情報を迅速に伝達する設備等は整備しなければならない。			
	事業の有効性	職員が安全に作業を遂行できるように、また、在宅においてメディア等の災害情報を得る手段のない市民にとって必要な情報を伝達できる。			
	事業の効率性	広報車用アンプ及びスピーカーを設置した車両は、平時に訓練で使用するだけでなく、広く啓発や他の事業にも活用が可能になる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 広報車用アンプ及びスピーカーを設置した車両が増えたことにより、避難誘導体制が強化されるなど災害時における効率性が高まった。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		防犯灯新設・維持管理事業				
事業の概要	市民の防犯意識の高まりや、住宅開発等により防犯灯の設置本数は増加しつづけており、維持管理費の増大から長期的な維持が困難になっている。そこで、従来の蛍光灯を使用した維持管理と並行して、モデル地区を設定し、防犯灯を新設する際に従来の蛍光灯に代えて、LED灯を設置して、LED灯の明るさ、維持管理費用等を検証する。					
	事業期間	平成22年5月1日～平成23年3月31日				
	総事業費	945千円	本年度事業費	945千円	交付金交付額	480千円
事業評価	事業の必要性	防犯灯の設置により犯罪の抑止や市民の安心が得られており、これを継続して維持していくためにも省エネ化を図っていくことは必要である。				
	事業の有効性	防犯灯のLED化は、市民の安全・安心が得られる効果を、より低コストで維持することができ、同時に環境負荷も軽減することが可能となる。				
	事業の効率性	市民が犯罪に巻き込まれないよう、夜間の道を照らし暗闇の部分減らすことで犯罪発生件数を少なくして安心・安全なまちづくりを目指す。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 LED灯は、長寿命なので低コストで維持が可能で環境負荷も軽減される。今後、調達コストが下がるなどの状況が起こればさらに負担が軽減される。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。